

# 厚生労働省班会議「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」

## 第6回 先天性吸収不全症グループ会議 議事録

日時：平成27年8月2日（土）10:00～11:00（全体会議事前打ち合わせ）  
13:30～15:00（グループ会議）

場所：聖路加国際病院

出席者：幾瀬 圭、石井智浩、位田忍、牛島高介、工藤孝広、工藤豊一郎、土岐彰、友政剛、永田公二、藤井善充、虫明聡太郎、米倉竹夫、河合富士美

### 【議事】

#### 1. 一次調査の追加報告の確認と集計について

位田先生より前回（4月18日）以降に追加収集された一次調査結果について報告があった。小児内科系の回収率は431/518施設（83%）、外科系は71/98施設（72%）であった。なお、外科系からの未回答施設に比較的規模の大きい医療機関が含まれているため、今後それらの施設担当者に対して、症例の有無を再度問い合わせ確認することとした。

#### 2. 二次調査票

二次調査票のうち、共通様式と、二次調査対象7疾患について診断の手引きと二次調査票案のチェックを行った。

これらについては、疾患別調査表のうち疾患特異的項目（主に治療に関する）を共通様式へ移管してこれを統合し、それぞれ疾患個別の様式を作成することとした。

なお、2週間で疾患特異的項目をリストアップして虫明まで提出していただくこととした。

#### 3. 診療ガイドライン作成，システマティックレビュープロセスについて

午後のグループ会議より、河合先生、藤井先生に加わっていただいたの討議を行い、下記の方針をもって今後の作業に進むこととした。

- 1)【吸収不全 malabsorption or 下痢 diarrhea】を第一義的検索用語とし、それに各疾患名を掛け合わせる形式で文献検索をそれぞれの疾患について行ってみる。
- 2) CQとアウトカムを疾患ごとに作成する（SCOPEに合わせて構成をそれぞれ考案する）
- 3) 集まったCQを可能な限り統合する（メール会議、または次回グループ会議で討議）
- 4) CQが決定してから正式な検索に入る（聖路加国際大学 河合先生に依頼）

#### 4. 今後の予定

- ・二次調査票発送は9月初旬に（母子センターより）
- ・11月下旬 コアメンバー会議
- ・12月中旬 研究班中間報告（これまでに二次調査の回収結果を報告できるようにする）
- ・次回（第7回）グループ会議について  
平成27年10月16日（金）～18日（日）に行われる日本小児栄養消化器肝臓学会（広島）の会期中に設定する。

議事録作成：近畿大学医学部奈良病院小児科 虫明聡太郎